

ステージング更新用の ESA の設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[GUI](#)

[CLI](#)

[確認](#)

[戻して下さい](#)

[URL フィルタリング](#)

[Web 相互対話 トラッキング](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

この資料はベータ 顧客向けのプロセスを説明したもので、ステージングからの更新を使用し、引っ張るために設定される必要があるテストのために使用される preprovisioned アプライアンスは Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) およびセキュリティ マネジメント アプライアンス (SMA) のサーバをアップデートします。留意して下さい、ステージング サーバは本番 ESA が SMA のために標準本番顧客によって使用されるべきではないです。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

注: 顧客はベータ 使用方法だけのための Cisco を通って事前プロビジョニングへのアクセス

権を得る場合使用だけであるはずでステージング アップデート サーバ URL。ベータ 使用を適用される有効なライセンスを持たない場合アプライアンスはステージング アップデート サーバから更新を受信しません。これらの手順はベータ 顧客にまたは B 式 知能 検査に加わる管理者によってしか使用する必要がありません。

ステージング更新を受信するため:

GUI

1. 『Security』 を選択 して下さいサービス > **Services 更新 > Edit アップデート設定を...**
2. すべてのサービスが Cisco IronPort アップデート サーバを使用するために設定されることを確認して下さい。

CLI

1. コマンド **updateconfig** を入力して下さい。
2. 非表示 サブコマンド **dynamichost** を入力して下さい。
3. これらのコマンドの 1 つを入力して下さい: ハードウェア ESA/SMA に関しては: **ステージ アップデートmanifests.ironport.com:443**バーチャル ESA/SMA に関しては: **ステージstg updates.ironport.com:443**
4. メインプロンプトに戻るまで 『Enter』 を押して下さい。
5. すべての変更を保存するために**託します**入力して下さい。

確認

確認は適切なステージ URL については成功する通信が付いている *updater_logs* で見られる場合があります。アプライアンスの CLI から、**グレップステージ updater_logs** を入力して下さい:

```
9.9.5-033.local (SERVICE)> grep stage updater_logs
```

```
Wed Mar 16 18:16:17 2016 Info: internal_cert beginning download of remote file "http://stage-updates.ironport.com/internal_cert/1.0.0/internal_ca.pem/default/100101"
Wed Mar 16 18:16:17 2016 Info: content_scanner beginning download of remote file "http://stage-updates.ironport.com/content_scanner/1.1/content_scanner/default/1132001"
Wed Mar 16 18:16:17 2016 Info: enrollment_client beginning download of remote file "http://stage-updates.ironport.com/enrollment_client/1.0/enrollment_client/default/102057"
Wed Mar 16 18:16:18 2016 Info: support_request beginning download of remote file "http://stage-updates.ironport.com/support_request/1.0/support_request/default/100002"
Wed Mar 16 18:16:18 2016 Info: timezones beginning download of remote file "http://stage-updates.ironport.com/timezones/2.0/zoneinfo/default/2015100"
Wed Mar 16 18:26:19 2016 Info: repeng beginning download of remote file "http://stage-updates.ironport.com/repeng/1.2/repeng_tools/default/1392120079"
```

予想外通信エラーがある場合、Domain Name Server (DNS) を確認するために**発掘 <stage URL>** を入力して下さい。

```
9.9.5-033.local (SERVICE)> dig stage-updates.ironport.com
```

```
; <<>> DiG 9.8.4-P2 <<>> stage-updates.ironport.com A
;; global options: +cmd
;; Got answer:
;; ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 52577
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 1, AUTHORITY: 0, ADDITIONAL: 0
```

```
;; QUESTION SECTION:
;stage-updates.ironport.com. IN A

;; ANSWER SECTION:
stage-updates.ironport.com. 275 IN A 208.90.58.21
```

```
;; Query time: 0 msec
;; SERVER: 127.0.0.1#53(127.0.0.1)
;; WHEN: Tue Mar 22 14:31:10 2016
;; MSG SIZE rcvd: 60
```

アプライアンスを確認することはポート 80 に Telnet で接続できます入力します **telnet <stage URL> 80** コマンドを。

```
9.9.5-033.local (SERVICE)> telnet stage-updates.ironport.com 80
```

```
Trying 208.90.58.21...
Connected to origin-stage-updates.ironport.com.
Escape character is '^['.
```

戻して下さい

標準本番に戻るためにサーバを、完了しますこれらのステップをアップデートして下さい:

1. コマンド **updateconfig** を入力して下さい。
2. 非表示 サブコマンド **dynamichost** を入力して下さい。
3. これらのコマンドの 1 つを入力して下さい: ハードウェア ESA/SMA に関しては: **アップデート manifests.ironport.com:443** バーチャル ESA/SMA に関しては: **アップデート manifests.sco.cisco.com:443**
4. メインプロンプトに戻るまで『Enter』を押して下さい。
5. すべての変更を保存するために**託します**実行して下さい。

注: ハードウェア アプライアンス (C1x0、C3x0、C6x0 および X10x0) はステージ アップデート **manifests.ironport.com:443** または **アップデート manifests.ironport.com:443** のダイナミックホストしか URL 使用しない必要があります。ESA および vESA 両方とのクラスタ設定がある場合、**updateconfig** はマシン レベルで設定され、**dynamichost** がそれからそれに応じて設定 されることを確認する必要があります。

URL フィルタリング

URL フィルタリングが設定されたアプライアンスで使用中的である場合、更新のためにステージ URL を使用するためにアプライアンスがリダイレクトされたら URL フィルタリングのためにステージング サーバを使用するためにアプライアンスはまた設定される必要があります:

1. CLI によってアプライアンスにアクセスして下さい
2. コマンド **websecurityadvancedconfig** を入力して下さい。
設定によるステップはオプションの値を入力します **Web セキュリティ サービス ホスト名** をに変更し、: **v2.beta.sds.cisco.com**
3. オプションの値を入力します強い要求の閾値をに変更して下さい: 5. (デフォルトは 50 です。)
4. すべてのその他のオプションのためのデフォルトを受け入れて下さい。
5. メインプロンプトに戻るまで『Enter』を押して下さい。
6. すべての変更を保存するために**託します**入力して下さい。

Web 相互対話 トラッキング

Web 相互対話 トラッキングが設定されたアプライアンスで使用中である場合、更新のためにステージ URL を使用するためにアプライアンスがリダイレクトされたらステージング 集約機能 サーバを使用するためにアプライアンスはまた設定される必要があります:

1. CLI によってアプライアンスにアクセスして下さい
2. コマンド `aggregatorconfig` を入力して下さい。
3. EDIT コマンドを使用し、この値を入力して下さい: `stage.aggregator.sco.cisco.com`
4. メインプロンプトに戻るまで『Enter』 を押して下さい。
5. すべての変更を保存するために**託します**実行して下さい。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [vESA でスパム対策やウイルス対策の更新をダウンロード/適用できない](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)